

## 健康経営領域

### ①従業員健康状態の把握

- ・健診データ ・ストレスチェックデータ
- ・harmoおくすり手帳(服薬)データ
- ・その他アンケート など

心身の健康状態を正しく把握、取得したデータから最適なサポートを検討

### ②従業員個々に合わせた健康ソリューションの提案・提供

従業員が自ら探しに行くのではなく、個々人の状態に合わせたサービスをharmoが提案することで、受け身の方においても改善・継続が出来る状態を目指す

### ③健康ソリューションサービスの利用

提案されたサービスから好みのものを選択し、申込・利用

### ④1クール終了後・チェック分析

改めて健康状態を把握することにより、さら最適化されたサービス提供が可能となることで、離職の抑制ならびに採用促進を図る

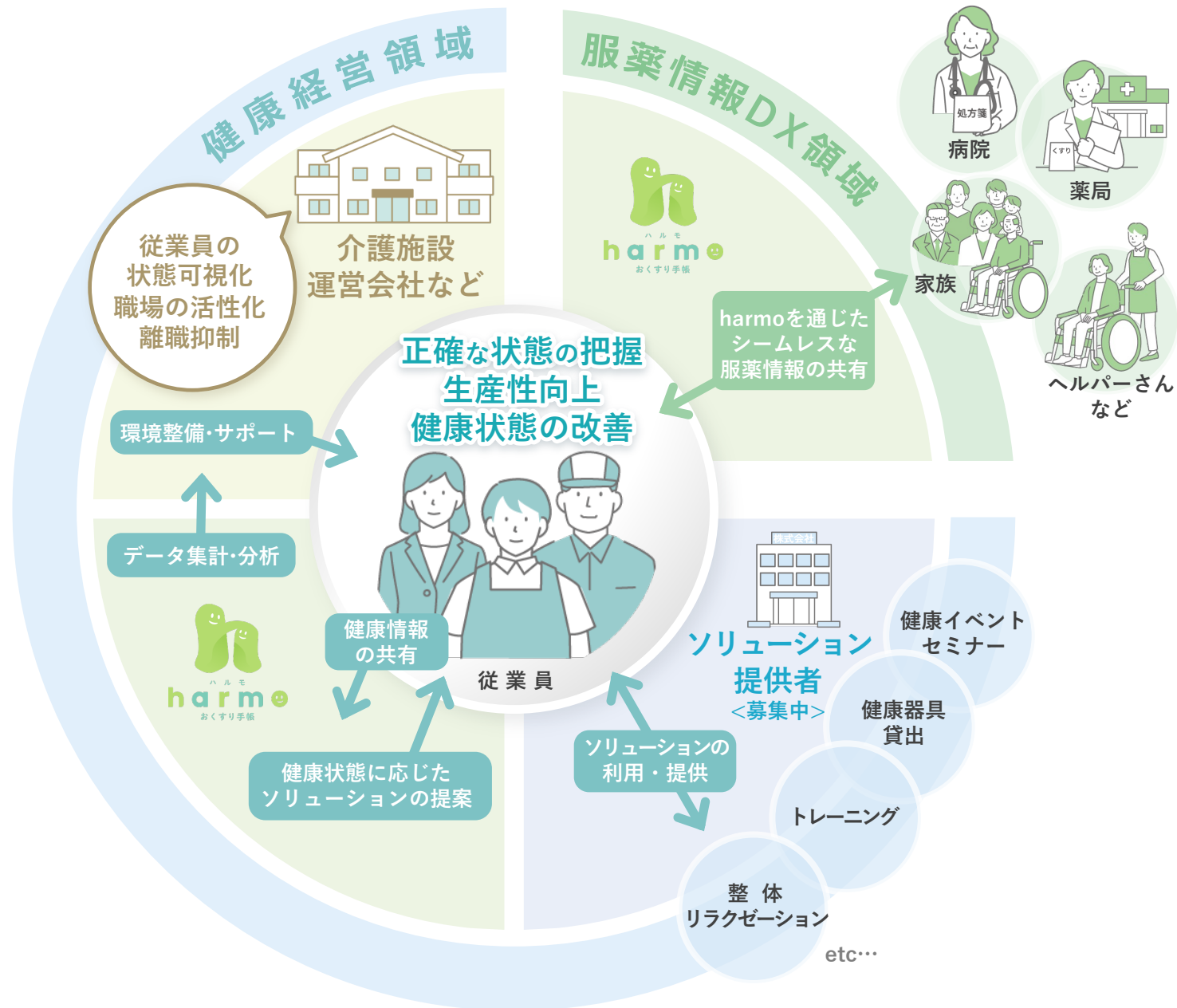
## 服薬情報DX領域

### <介護>

- ①入居者にharmo利用を促進
- ②スマホで処方薬情報の関係者へ自動連携
- ③薬剤管理業務、連絡業務の工数削減

### <運輸>

- ①治療継続による病気進行の抑制
- ②影響を及ぼす薬剤、服用方法の回避



# 健康創造都市KOBEプロジェクトシート

<b>プロジェクト タイトル</b>	電子お薬手帳を用いた健康経営プロジェクト ～介護業界編～	<b>チームメンバー (代表に☆)</b>	☆harmo(株)、ロングライフHD、神戸市薬剤師会、明治安田生命、ZeroRealize
<b>プロジェクトの短期目標</b>		<b>解決したい課題は誰のどんな課題か</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>初期成果の指標：労働生産性（WPAI）、ワークエンゲージメント、従業員健康実感の改善率</li> <li>目標値：それぞれ約10～20%改善</li> <li>評価タイミング：実証実験開始から半年毎にトラッキング</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>介護施設従業員                             <ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の服薬管理において、親族への連絡など複数の業務が発生している</li> <li>介護業務による心身の疲労</li> </ul> </li> <li>介護施設運営者                             <ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の離職、採用困難</li> </ul> </li> </ul>	
<b>各社の実施内容・役割分担</b>		<b>各社の参加する意義・メリット</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>harmo：電子お薬手帳システム提供、健康経営サービスの運営サポート</li> <li>ロングライフHD：実証実験フィールドとなる介護施設</li> <li>神戸市薬剤師会：介護施設門前薬局での取り組みサポート</li> <li>明治安田生命：健康経営関連サポート</li> <li>ZeroRealize：整体サービスの提供</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>harmo：電子お薬手帳の普及、健康経営サービスの知見獲得</li> <li>ロングライフHD：施設DX化、従業員の心身状態改善、業務効率化、入居者の満足度向上</li> <li>神戸市薬剤師会：薬局外フィールドでの職能発揮による市民貢献</li> <li>明治安田生命：新たな健康経営参入切り口の開拓</li> <li>ZeroRealize：新規顧客チャネルの獲得</li> </ul>	
<b>神戸市に協力してほしいこと</b>		<b>プロジェクト阻害要因・想定されるリスクと対策</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>財政支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>該当する助成金や補助金の探索と申請サポート</li> </ul> </li> <li>地域連携のサポート                             <ul style="list-style-type: none"> <li>医師、薬剤師、従業員、入居者、入居者親族へのご説明サポート</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>医師、薬剤師のDX化への理解</li> <li>当取り組みによる医療機関側のメリットを訴求</li> <li>介護施設従業員のPJT不参加・健康ソリューションの不足</li> <li>プロジェクトに参加いただくことによるメリットを健康ソリューションなどインセンティブで説得、ソリューションベンダー様の募集</li> </ul>	

## 全体スケジュール ※半年ごとに進捗報告の場を用意する予定

	2023年度			2024年度												2025年度												2026年度																							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
PJTチームの確定																																																			
実証実験の準備																																																			
実証実験開始																																																			
初回アンケート																																																			
効果検証アンケート①																																																			
効果検証アンケート②																																																			
改善PJT案の検討																																																			
次年度PJTチーム検討																																																			
次年度PJTの準備・開始																																																			